

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地							
横浜ビューティーアート専門学校		平成16年4月1日		小泉 いづみ		〒 2210822 (住所) 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-19-6 (電話) 045-434-2846							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地							
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151							
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度		高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度				
文化・教養	文化・教養専門課程		トータルビューティー科		平成17(2005)年度		-		平成28(2016)年度				
学科の目的		「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。											
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		【エステ】CIDESCO インターナショナルエステティシャン、AEA 上級認定エステティシャン、AJESTHE 認定上級エステティシャン、AJESTHE 認定ボディエステティシャン、AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン、JEO 認証エステティシャン、アロマテラピー検定1～2級 【メイク】日本化粧品検定1～2級、トータルメイクアップ検定ベーシック・アドヴァンス 【ネイル】JNEC ネイリスト技能検定試験1～3級、JNA ジェルネイル技能検定試験初級～上級、JNA 認定ネイルサロン衛生管理士											
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習		実験		実技	
2	年間	※単位時間、単位いずれかに記入 62 単位		単位時間 117 単位		単位時間 142 単位		単位時間 5 単位		単位時間 0 単位		単位時間 13 単位	
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)		中退率						
240 人	258 人		1 人		0 %		0 %						
就職等の状況	■卒業者数(C)		111 人		人								
	■就職希望者数(D)		78 人		人								
	■就職者数(E)		77 人		人								
	■地元就職者数(F)		14 人		人								
	■就職率(E/D)		70 %		%								
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		18 %		%								
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		69 %		%								
	■進学者数		15 人		人								
	■その他												
	就職希望なし 18名、美容科通信進学 14名												
(令和 6 年度卒業生に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)													
■主な就職先、業界等		(令和6年度卒業生) エステサロン、ネイルサロン、化粧品関連会社 等											
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL					無							
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/												
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)												
	総授業時数		0 単位時間										
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位時間										
	うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間										
	うち必修授業時数		単位時間										
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位時間										
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間										
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間										
	(B: 単位数による算定)												
	総単位数		62 単位										
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		12 単位											
うち企業等と連携した演習の単位数		0 単位											
うち必修単位数		9 単位											
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		0 単位											
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		0 単位											
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		4 単位											
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号) 52 人										
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号) 15 人										
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人										
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号) 3 人										
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号) 53 人										
	計		123 人										
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		24 人										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年9月18日現在

名 前	所 属	任期	種別
加藤 弘英	株式会社不二ビューティー	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
関 久美	ピアス株式会社	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
木下 美穂里	NPO法人日本ネイリスト協会	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	①
松川 喜代美	横浜ビューティーアート専門学校 副校長		—
河崎 力	横浜ビューティーアート専門学校 教務課長		—
遠藤 幸枝	横浜ビューティーアート専門学校 教務主任		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年12月16日 15:00～17:00

第2回 令和7年9月12日 15:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。 ①コンテストを成長の機会と捉える ⇒対応:コンテストは成長のチャレンジの場として活用し、全員参加を目指すのではなく、興味のある生徒に対して積極的に機会を提供している。審査員の傾向や過去の入賞作品を分析し、指導に取り入れることで、実践的なスキル向上を図っている。 ②基本的な所作とマナーの徹底 ⇒対応:エステやネイルの授業では、目を閉じているお客様を想定し、所作や姿勢の重要性を強調している。練習段階からお客様を意識した対応を心掛け、社会人としての基本的なマナーを徹底している。 ③検定対策と時間管理の徹底 ⇒対応:ネイルの検定対策として、ストップウォッチを使用し、時間意識を高めている。テーブルセッティングや道具の整理整頓を徹底し、清潔感を保つよう対応をしている。			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 * 授業内容について(1年次に2週間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界に必要な技術を習得する) * 評価について(連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする)			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
サロンワークⅠ-D	企業等からの講師が全ての授業を主担当	卒業後のサロンワークを想定し集客接客などを含めサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び実際にお客様をお呼びして施術を行う	株式会社エムアイシー(M.SLASH)
サロンワークⅡ-D	企業等からの講師が全ての授業を主担当	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う	株式会社エムアイシー(M.SLASH)
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。 ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修 ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修			
(2)研修等の実績			
①専攻分野における実務に関する研修等			
研修名:	連携企業等:		
期間:	対象:		
内容			
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	連携企業等:		
期間:	対象:		
内容			
(3)研修等の計画			
①専攻分野における実務に関する研修等			
研修名:	エステコンテスト強化研修	連携企業等: 株式会社ソシエ・ワールド	
期間:	令和7年8月21日	対象: 教科担当教員(12名)	
内容	コンテストに向けた技術力アップ研修		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: キャリア講座

連携企業等: 株式会社トリプル・ウィン

期間: 令和7年9月17日

対象: クラス担任教員(8名)

内容: 社会で活躍するためのビジネスマナー

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。

①コミュニケーション能力が問題。仕事に対してのフィードバックを受けるのが苦手な社会人が多い。悲観的に物事をとらえてしまう。

⇒対応: 社会に出た時のギャップを少しでもなくす為に授業内容を工夫していく。

②学校と現場がつながる場面を増やしていくべき。

⇒対応: インターンへの協力やアルバイト採用等新たな連携策を増やしていく。

③ICT教育推進の取り組みを進めてほしい

⇒対応: 引き続きデジタル教科書、SNS活用、VRの活用を進めていく

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
高橋 健二	株式会社M.SLASH HD	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	関連業界等関係者
佐々木 康人	飛鳥未来高等学校横浜関内キャンパス キャンパス長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	教育に関し知見を有する者
齋藤 舞香	プレステージ合同会社	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生
加藤 美果	株式会社エシエル	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/>

公表時期: 令和7年7月3日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/2025/docs/schoolinfo.pdf>

公表時期: 令和7年5月21日

授業科目等の概要

	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任	
1	○			サロンマナーⅠ	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ授業です。	1前	30	2	○			○			○	
2	○			カラーコーディネートⅠ	ファッションコーディネートで即戦力となるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に着けます。パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指します。	1前	30	2	○			○			○	
3	○			未来デザインプログラムⅠ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1前	15	1	○			○			○	
4		○		デッサン・イラストレーション	物の形をよく観察する力と洞察力を養うことでより深く芸術を理解できます。またデッサン力から応用することによりコミュニケーション能力を高めることが出来ます。	1前	30	2	○			○			○	
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1前	30	2	○			○			○	
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・骨格系・筋系・神経系	1前	30	2	○			○			○	
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する ・5大栄養素 ・栄養所要量 ・食物摂取とその消化吸収	1前	15	1	○			○			○	
8			○	化粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料	1前	15	1	○			○			○	
9			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。 ・法の基礎知識・公衆衛生・衛生管理	1前	15	1	○			○			○	
10			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。	1前	60	2		○		○			○	
11			○	ベーシックネイルⅠ	JNECネイリスト技能検定3級取得を目指し、ネイルケア～カラーリング・アートまでのネイルの基礎を学ぶ	1前	60	2		○		○			○	
12			○	ベーシックメイクⅠ	メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用方法を理解すると同時に、スキンケア～メイクアップテクニックをマスターしフルメイク基礎技術を身に付ける。	1前	60	2		○		○			○	
13			○	就職対策Ⅰ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導します。	1前	15	1	○			○			○	
14			○	キャリアデザインⅠ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする	1前	15	1	○			○			○	
15	○			カラーコーディネートⅡ	ファッションコーディネートで即戦力となるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に着けます。パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指します。	1後	30	2	○			○			○	
16	○			未来デザインプログラムⅡ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1後	15	1	○			○			○	
17			○	就職対策Ⅱ	専門学生としての自覚を持たせ、目的意識をもって学校生活を送る	1後	15	1	○			○			○	
18			○	キャリアデザインⅡ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする	1後	15	1	○			○			○	
19	○			サロンマナーⅡ	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ授業です。	1後	15	1	○			○			○	
20			○	SNS・WEB・フォトスキル	美容業界の現状や顧客のニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。	1後	15	1		○		○			○	
21			○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・肌の美しさを損ねる要因・様々な肌状態 ・肌と環境・肌分析	1後	30	2	○			○			○	
22			○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系 ・生殖器系	1後	30	2	○			○			○	
23			○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。栄養学から見た食品・健康と栄養・サプリメント・食品添加物	1後	15	1	○			○			○	
24			○	化粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 フェイシャル、ボディ化粧品・化粧品に用いられる薬剤とその働き	1後	15	1	○			○			○	
25			○	ベーシックネイルⅡ	JNECネイリスト技能検定3級取得を目指し、ネイルケア～カラーリング・アートまでのネイルの基礎を学ぶ	1後	30	1		○		○			○	
26			○	ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1後	30	1		○		○			○	

27			○ ビューティーカウンセリング	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1 後	30	2	○			○				○	
28			○ 検定メイク I	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格を目指す	1 後	45	3	○			○				○	
29			○ ヘアアレンジ I	頭部・骨格の名称、ブローキングの方法等を学習した後、ホットカラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	1 後	60	2		○		○				○	
30			○ パーソナルメイク	顔の分析、カラー診断、イメージに合わせて演習	1 後	45	2		○		○				○	
31			○ ベーシックメイク II	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	1 後	30	1		○		○				○	
32			○ エステティックカウンセリング I	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1 後	15	1	○			○				○	
33			○ エステティック概論・衛生学・関係法規 II	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。経済行為、人の身体に直接関連する法律	1 後	15	1	○			○				○	
34			○ プロフェイシャル I	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1 後	60	2		○		○				○	
35			○ プロボディ I	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1 後	60	2		○		○				○	
36			○ アロマテラピー I	アロマテラピーの基礎知識を学ぶ。 ・精油の基礎知識・プロフィール ・利用法・歴史・環境	1 後	30	2	○			○				○	
37			○ スカルプチュア	JNECネイリスト技能検定 1 級の課題の一つとなっている、アクリル樹脂のパウダーとリキッドを使用した付け爪で、短い爪の長さを出す技術を学ぶ	1 後	45	2		○		○				○	
38			○ ネイルケア&ネイルアート Iー I	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す授業	1 後	45	2		○		○				○	
39			○ 検定対策 I	JNECネイリスト技能検定 2 ～ 3 級と JNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指す技術強化していく授業	1 後	45	3	○			○				○	
40			○ ジェルネイル I	JNAジェルネイル技能検定初級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ授業	1 後	45	2		○		○				○	
41			○ コンテスト I	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく授業	1 後	15	1	○			○				○	
42			○ フェイシャル&ボディ I	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1 後	45	2		○		○				○	
43			○ ネイルアート I	フラットアート・3Dアートやエアブラシなど基礎的なアートから高度なアート技術までの全てを学ぶ	1 後	30	1		○		○				○	
44			○ ネイル演習	JNEC 3 級の取得をして、更に上級の JEC 2 級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する	1 後	30	1		○		○				○	
45			○ パーソナルヘア&メイク I	メイク検定アドヴァンスの対策を行い、撮影、ブライダル、アーティストと現場に必要な技術と知識を習得する	1 後	30	1		○		○				○	
46			○ 検定メイク II	資格取得のためのメイク基礎知識技術を身に付け、カウンセリングメイク応用技術を習得する。	1 後	30	2	○			○				○	
47			○ スマートフォト技術	スマートフォンを使って作品撮りや自撮りのテクニックを身に付ける	1 後	15	1		○		○				○	
48			○ 自己プロデュース	客観的な分析力と表現力を身に付ける	1 後	15	1		○		○				○	
49			○ パーソナルスタイル	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・理論を習得する	1 後	15	1	○			○				○	
50			○ ビューティーフード	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する	1 後	15	1	○			○				○	
51			○ サロンワーク Iー I	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する	1 後	45	1			○	○				○	
52	○		サロンワーク IIー I	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する	2 前	45	1			○	○				○	○
53	○		サロンワーク IIIー I	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する	2 後	45	1			○	○				○	○
54			○ 施設実習 I	現場での実習勤務を通して、1 日及び 1 週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく	2	40	2			○	○				○	
55			○ 施設実習 II	現場での実習勤務を通して、1 日及び 1 週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく	2	40	2			○	○				○	

56			○ 就職対策Ⅲ	専門学生としての自覚を持たせ、目的意識をもって学校生活を送る	2 前	15	1	○		○					○	
57			○ 就職対策Ⅳ	専門学生としての自覚を持たせ、目的意識をもって学校生活を送る	2 後	15	1	○		○					○	
58			○ 着付けⅠ－Ａ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得します。	2 前	30	1	○		○					○	
59			○ 着付けⅠ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得します。	2 前	30	1	○		○					○	
60			○ 着付けⅡ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得します。	2 後	30	2	○		○					○	
61			○ ビューティー接客Ⅰ	美容に関するカウンセリング及び接客技術の知識を深める	2 前	30	2	○		○					○	
62			○ ビューティー接客Ⅱ	美容に関するカウンセリング及び接客技術の知識を深める	2 後	30	2	○		○					○	
63			○ ビューティーメイクⅠ－Ｅ	基礎技術から応用まで習得し、魅力を最大限に引き出すメイク技術を学ぶ	2 前	60	2	○		○					○	
64			○ ビューティーメイクⅡ－Ｅ	基礎技術から応用まで習得し、魅力を最大限に引き出すメイク技術を学ぶ	2 後	60	2	○		○					○	
65			○ ブランドリサーチⅠ	顧客・競合・市場を調査し、強みと差別化を把握することを学ぶ	2 前	45	2	○		○					○	
66			○ ブランドリサーチⅡ	顧客・競合・市場を調査し、強みと差別化を把握することを学ぶ	2 後	45	2	○		○					○	
67			○ カウンセリングⅠ	傾聴・共感・質問技法を用い、相手の理解と信頼関係を築く学習	2 前	60	4	○		○					○	
68			○ カウンセリングⅡ	傾聴・共感・質問技法を用い、相手の理解と信頼関係を築く学習	2 後	60	4	○		○					○	
69			○ クリエイティブヘアメイクⅠ	発想力と技術を融合し、個性を活かした独創的なヘアメイクを創造する学習	2 前	45	2	○		○					○	
70			○ クリエイティブヘアメイクⅡ	発想力と技術を融合し、個性を活かした独創的なヘアメイクを創造する学習また、その応用	2 後	45	2	○		○					○	
71			○ ファッションⅠ	服飾史や素材知識を基盤に、コーディネート力と表現力を磨く学習	2 前	15	1	○		○					○	
72			○ ファッションⅡ	服飾史や素材知識を基盤に、コーディネート力と表現力を磨く学習	2 後	15	1	○		○					○	
73		○	サロンワークⅠ－Ｈ	卒業後のサロンワークを想定し集客接客などを含めサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び実際にお客様をお呼びして施術を行う	2 前	60	2			○	○				○	○
74		○	サロンワークⅡ－Ｈ	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う	2 後	60	2			○	○				○	○
75			○ ビューティーメイクⅠ－Ｆ	基礎技術から応用まで習得し、魅力を最大限に引き出すメイク技術を学ぶ	2 前	30	1	○		○					○	
76			○ ビューティーメイクⅡ－Ｆ	基礎技術から応用まで習得し、魅力を最大限に引き出すメイク技術を学ぶ	2 後	30	1	○		○					○	
77			○ スチールヘアメイクⅠ	光と影、写真のバランスについての撮影練習から、ライト・ストロボの関係を実習を通して学んでいきます	2 前	45	2	○		○					○	
78			○ スチールヘアメイクⅡ	光と影、写真のバランスについての撮影練習から、ライト・ストロボの関係を実習を通して学んでいきます	2 後	45	2	○		○					○	
79			○ ヘアアレンジⅡ	頭部・骨格の名称、ブロッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	2 前	45	2	○		○					○	
80			○ ヘアアレンジⅢ	頭部・骨格の名称、ブロッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	2 後	45	1	○		○					○	
81			○ ビューティーカウンセラーメイクⅠ	幅広いメイクアップの技術とや肌の知識、カウンセリング方法等、ビューティーカウンセラーになる為の知識や技術を学ぶ。	2 前	60	4	○		○					○	
82			○ ビューティーカウンセラーメイクⅡ	幅広いメイクアップの技術とや肌の知識、カウンセリング方法等、ビューティーカウンセラーになる為の知識や技術を学ぶ。	2 後	60	4	○		○					○	
83			○ ブライダルメイクⅠ	様々なドレスや季節に合ったメイク、列席者のメイクを学ぶ。その他、ブライダルの歴史等幅広く習得できる。	2 前	45	2	○		○					○	
84			○ ブライダルメイクⅡ	様々なドレスや季節に合ったメイク、列席者のメイクを学ぶ。その他、ブライダルの歴史等幅広く習得できる。	2 後	45	2	○		○					○	

85			○ 特殊メイクⅠ	特殊メイク（傷・アザ・火傷・切断）・アニマルメイク・ボ ディジュエリーなど。エアブラシや様々な道具を使用し、撮影や 現場で実践できる多様な技術を学びます。	2 前	45	2		○		○							
86			○ 特殊メイクⅡ	特殊メイク（傷・アザ・火傷・切断）・アニマルメイク・ボ ディジュエリーなど。エアブラシや様々な道具を使用し、撮影や 現場で実践できる多様な技術を学びます。	2 後	45	2		○		○						○	
87			○ アーティストメイクⅠ	ショーメイクからスチールメイク、年代別メイクまで、シーン に合わせたメイクの研究や違い、特徴をとらえた技術を学びま す	2 前	45	2		○		○						○	
88			○ アーティストメイクⅡ	ショーメイクからスチールメイク、年代別メイクまで、シーン に合わせたメイクの研究や違い、特徴をとらえた技術を学びま す	2 後	45	2		○		○						○	
89			○ フォト&ファッションⅠ	光と影、写真のバランスについての撮影練習から、ライト・ス トロボの関係性を実習を通して学んでいきます	2 前	15	1	○			○						○	
90			○ フォト&ファッションⅡ	光と影、写真のバランスについての撮影練習から、ライト・ス トロボの関係性を実習を通して学んでいきます	2 後	15	1	○			○						○	
91		○	サロンワークⅠ-D	卒業後のサロンワークを想定し集客接客などを含めサロンの開 店準備からオープンまでの全てを学び実際にお客様をお呼びし て施術を行う	2 前	60	2			○	○						○	○
92		○	サロンワークⅡ-D	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学 び、サロン運営を行う	2 後	60	2			○	○						○	○
93		○	エステティックカウンセリングⅡ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見 極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイ スを専門的に行える知識を身につける	2 前	30	2	○			○						○	
94		○	エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見 極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイ スを専門的に行える知識を身につける	2 後	30	2	○			○						○	
95		○	サロントリートメントⅠ	選択科目の知識、技術を学ぶ ・WAX脱毛・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2 前	45	2		○		○						○	
96		○	サロントリートメントⅡ	選択科目の知識、技術を学ぶ ・WAX脱毛・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2 後	45	2		○		○						○	
97		○	エステティック総論Ⅰ-A	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 前	60	4	○			○						○	
98		○	エステティック総論Ⅱ-A	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 後	60	4	○			○						○	
99		○	フェイシャルマニピュレーションⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニッ ク技術、知識を深める	2 前	45	2		○		○						○	
100		○	フェイシャルマニピュレーションⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニッ ク技術、知識を深める	2 後	45	2		○		○						○	
101		○	フェイシャルスキンケアⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだフェイシャル機 器の技術、知識を深める	2 前	45	1		○		○						○	
102		○	フェイシャルスキンケアⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだフェイシャル機 器の技術、知識を深める	2 後	60	2		○		○						○	
103		○	ボディベーシックⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニク技 術、知識を深める	2 前	45	2		○		○						○	
104		○	ボディベーシックⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニク技 術、知識を深める	2 後	45	2		○		○						○	
105		○	ボディテクニカルⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだボディ機器の技術、知 識を深める	2 前	45	1		○		○						○	
106		○	ボディテクニカルⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだボディ機器の技術、知 識を深める	2 後	60	2		○		○						○	
107		○	プロボディⅡ	ボディテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニッ ク・接客マナー	2 前	60	2		○		○						○	
108		○	プロボディⅢ	ボディテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニッ ク・接客マナー	2 後	60	2		○		○						○	
109		○	プロフェイシャルⅡ-B	フェイシャルテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニッ ク・接客マナー	2 前	90	4		○		○						○	
110		○	プロフェイシャルⅢ-B	フェイシャルテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニク・接客マナー	2 後	90	4		○		○						○	
111		○	プロフェイシャルⅡ-C	フェイシャルテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器	2 前	60	2		○		○						○	
112		○	プロフェイシャルⅢ-C	フェイシャルテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器	2 後	60	2		○		○						○	
113		○	エステティック総論Ⅰ-B	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 前	30	2	○			○						○	

114			○ エステティック総論Ⅱ - B	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 後	30	2	○			○			○	
115			○ エステティック総論Ⅰ - C	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 前	15	1	○			○			○	
116			○ エステティック総論Ⅱ - C	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 後	15	1	○			○			○	
117			○ アロマセラピー総論Ⅰ	エステティック知識総合（H専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化 ・機能・脳神経の構造と働き ・心と脳の関わり・ハーブのプロフィール	2 前	30	2	○			○			○	
118			○ アロマセラピー総論Ⅱ	エステティック知識総合（H専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化 ・機能・脳神経の構造と働き ・心と脳の関わり・ハーブのプロフィール	2 後	30	2	○			○			○	
119			○ スパセラピーⅠ	アロマの効能や特性、健康や癒しを提供するための技術を身につける	2 前	60	3		○		○			○	
120			○ スパセラピーⅡ	アロマの効能や特性、健康や癒しを提供するための技術を身につける	2 後	60	3		○		○			○	
121			○ 検定対策Ⅱ	JNECネイリスト技能検定2～3級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指し技術強化していく授業	2 前	60	4	○			○			○	
122			○ 検定対策Ⅲ	JNECネイリスト技能検定2～1級とJNAジェルネイル技能検定中級～上級の取得を目指し技術強化していく授業	2 後	60	4	○			○			○	
123			○ 検定対策&スカルプチュアⅠ	JNECネイリスト技能検定1～2級と特にスカルプチャー技術を強化していく授業	2 前	60	4	○			○			○	
124			○ 検定対策&スカルプチュアⅡ	JNECネイリスト技能検定1～2級と特にスカルプチャー技術を強化していく授業	2 後	60	4	○			○			○	
125			○ ジェルネイルⅡ	JNAジェルネイル技能検定中級～上級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ授業	2 前	60	2		○		○			○	
126			○ ジェルネイルⅢ	JNAジェルネイル技能検定中級～上級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ授業	2 後	60	2		○		○			○	
127			○ コンテストⅡ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく授業	2 前	30	1		○		○			○	
128			○ コンテストⅢ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく授業	2 後	30	1		○		○			○	
129			○ ネイルケアⅡ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す授業	2 前	45	2		○		○			○	
130			○ ネイルケアⅢ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す授業	2 後	45	2		○		○			○	
131			○ ネイルアートⅡ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す授業	2 前	45	2		○		○			○	
132			○ ネイルアートⅢ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す授業	2 後	45	2		○		○			○	
133		○	サロンワークⅠ-J	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通ずる人を魅了することへの表現力を身につける。	2 前	30	1			○	○			○	○
134		○	サロンワークⅡ-J	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通ずる人を魅了することへの表現力を身につける。	2 後	30	1			○	○			○	○
135		○	エステティックカウンセリングⅠ-J	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける	2 前	15	1	○			○			○	
136		○	エステティックカウンセリングⅡ-J	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける	2 後	15	1	○			○			○	
137		○	アロマセラピーⅡ	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。・アロマセラピーのための健康学、メカニズム・法律問題・資格制度	2 前	15	1	○			○			○	
138		○	アロマセラピーⅢ	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。・アロマセラピーのための健康学、メカニズム・法律問題・資格制度	2 後	15	1	○			○			○	
139		○	フェイシャル&ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める	2 前	60	3		○		○			○	
140		○	フェイシャル&ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める	2 後	60	3		○		○			○	
141		○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す授業	2 前	45	2		○		○			○	
142		○	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す授業	2 後	45	2		○		○			○	

